尾崎大介 東京都議会議長 殿

辰巳国際水泳場のプール機能の存続を求める請願

新日本スポーツ連盟東京都連盟 理事長 小林章子
新日本スポーツ連盟東京水泳協議会 運営委員長 竹内正彦

［請願事項］

辰巳国際水泳場の５０ｍのプール機能を２０２０年以降も存続し、東京辰巳国際水泳場は市民が気軽に利用できる施設にしてください。

［請願趣旨］

２０２０年東京オリンピック・パラリンピックの水泳競技大会の会場として、アクアティックセンターが新たに建設されていますが、オリンピック・パラリンピック大会閉会後には、辰巳国際水泳場をスケート場に改修することが報道されています。

しかし、これまで、辰巳国際水泳場は、土曜日、日曜日は各種の国際大会や各カテゴリー水泳大会や全国規模の水泳大会が開催されていて、一般利用はできないことが多く、平日でもコース貸しの抽選の倍率が高くてなかなか当たらないなど、日常的に水泳を愛好する個人やクラブにとっては大変な状況です。

同じ地域に２か所のプールといっても、都民の人口からすれば、まだまだプールは不足しています。

水泳愛好者は、辰巳国際水泳場をこれまで通りプールとして存続させて、市民スイマーの練習場として、また、市民レベルの水泳大会会場として活用できると考えています。

スケート場が不足していることについては、新たにスケート競技場を建設することが必要で、決して辰巳国際水泳場を改修してしまうことは、有益な措置ではありません。

オリンピック・パラリンピック大会後は、主要な水泳大会はアクアティックセンター市民スイマーの活動は東京辰巳国際水泳場とすみ分けできれば、益々、多くの水泳愛好者が生まれます。安易に施設を作り変えることには承服できません。オリンピック・パラリンピック大会後も、東京辰巳国際水泳場は、プールとして市民スポーツに寄与させて下さい。

氏名	住所

取扱い団体	